

平成 17 年度第 6 回法務委員会 (議事録抄)

日 時 平成 18 年 2 月 14(火) 1300 ~ 1700

場 所 操縦士協会事務局

出席者 熊坂委員長、長谷川、染谷、友田、各委員

- 1 . 平成 17 年度第 5 回法務委員会議録確認
- 2 . 桐蔭横浜大学法科大学院 桐蔭横浜大学コンプライアンス研究センター主催
「事故防止のための法制度研究会」出席報告
 - ・ 法務委員会から 3 名出席した。パネリストたちによる刑事責任と事故原因究明に関する問題点の提言がなされた。
 - ・ 17 年 6 月に出された日本学術会議小委員会の「事故調査体制のあり方に関する提言」の紹介をした。
 - ・ 法制度研究会各サークルへの参加呼びかけに応じ、出来る範囲で参加するように確認した。
- 3 . 907 裁判の傍聴とその後について
第 13 回公判、14 回公判内容について、委員長から報告があった。
概略はメールで報告済み
 - ・ 1 月 25 日論告求刑と最終弁論が行われ結審となる。
 - ・ 判決は 3 月 20 日予定。予断は許さない状況
- 4 . JA3435 事故について
3 人の被害者については示談終了。同乗者 3 人の検察官聴取は終了。本人については 3 月にずれ込む(弁護士の話によると罰金刑ですむんじゃないかとのこと)
今後も継続的に情報収集して、モデルケースとして紹介していく。
- 5 . 第 226 回理事会報告
- 6 . ICAO 技能証明制度改定 MPL について委員会として十分研究し見解を出す。
- 7 . 次期役員選任について
- 8 . 41 期活動報告と次期活動計画および予算について (別添付)
- 9 . 懸案事項について
小冊子「事故に遭遇したら」のコンパクト判発行 修正案を作成中
ビデオ作成 現在情報不足で作業が滞っている。

次回 3 月の委員会予定は都合により 9 日(木)を予定しています。